

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ペトロプラスを巡る汚職スキャンダルや財政緊縮策の先行きに対する懸念の高まりから不安定な値動きが続いており、取引開始直後に一時3.17台までレアル安が進行した。しかし、その後は「ルセフ大統領が財政緊縮策の合意に向け、議会の支持を得る可能性が高まった」との観測が広まり、ドル売りレアル買いが優勢に。一時3.08台まで急速に水準を切り下げるなど、変動の激しい展開が続いている。ドル高基調の中、政治リスクの高まりが悪材料視されたことでレアル売りが足許で加速しているが、今後は為替介入プログラムの継続の有無についても注意を要したい。中銀はレアル相場が10年ぶりの水準へ下落する環境下、4月満期のロールオーバー額を縮小させており、一部では中銀が通貨安を容認しているとの見方も出ている。現行プログラムの期限が今月31日であることを考慮すると、将来の方針に関するアナウンスがいつ実施されても不思議ではない。その点を見極める上でも、12日に控えている金融政策決定会合の議事録公表は注目である(レアル安についてどのような評価を下しているか)。

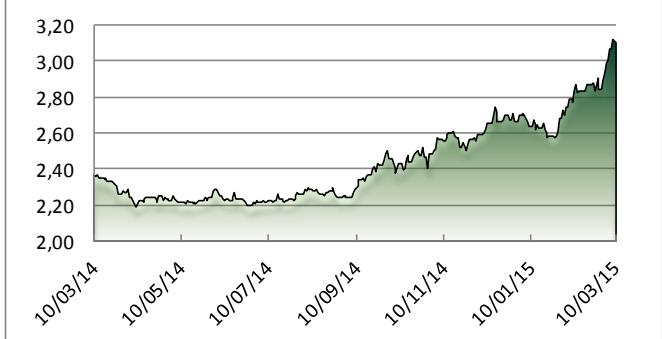
地元紙は昨日、「Levy財務相は通貨安が景気活性化の鍵になる、との見方を否定し、投資家の信頼回復に必要な財政緊縮策の議会承認が経済成長を左右することになる」との内容を伝えた。2月インフレ率は前年比7.70%まで拡大しているものの、Levy氏は「レアル安のインフレ率への影響は限定的であり、中銀が必要な金融政策を導入することで目標値まで抑制することは可能」との見解を示した。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月9日	3月10日	前日比	2月10日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	38,81	39,04	+0,23	42,15	-3,11
USD / BRL Spot	BRL	3,1224	3,1013	-0,0211	2,8324	+0,2689
USD / JPY Spot	JPY	121,15	121,13	-0,02	119,43	+1,70
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	49.181	48.293	-888	48.510	-217
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	269,0	286,8	+17,8	245,6	+41,2
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	13,33	13,13	-0,20	12,65	+0,48
DI Future Apr16 (金利先物)	%	13,89	13,77	-0,12	13,03	+0,74
3 Months US Dollar Libor	%	0,267	0,267	+0,000	0,258	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	219,3	216,0	-3,3	223,7	-7,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

